

令和2年度 事務事業総点検シート(1)
[令和元年度事務事業]

| | | | | | |
|-------|-------------|---|------|--------|------------|
| 一般会計 | | | | 事務事業分類 | A 一般事務事業 |
| 事務事業名 | さかい学びサポート事業 | | | シート番号 | 038-040 |
| 担当部署名 | 教育委員会事務 | 局 | 学校教育 | 部 | 学校指導 |
| | | | | 課 | 評価責任者(課長名) |
| | | | | | 後藤 |

Ⅰ. 基本情報

| | | | | | | |
|------|---------|--|------------------------|---|---------------------|-------------|
| 基本情報 | 1 | 堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け | 政策 | 3 | 次代を担う子どもを健やかにはぐくみます | 後期実施計画の位置付け |
| | | | 施策 | 3 | 学ぶ力・生きる力の育成 | 有 |
| | 2 | 事業開始年度 | 平成 22 年度 | | 終了(予定)年度 | — 年度 |
| | 3 | 根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等) | 教育基本法13条 | | | |
| | 4 | 関連計画 | 堺市教育大綱、第2期未来をつくる堺教育プラン | | | |
| 5 | 事業実施の経緯 | 本市では総合的な学力の向上をめざしており、その一助として、児童生徒の学習習慣を定着させ、学習意欲を向上させるために、児童生徒の学びの状況に応じたきめ細やかな指導を行うことが求められている。 | | | | |

Ⅱ. 事業概要

| | | | | | | | |
|------|--------------|--|--|--|--|--|--|
| 事業概要 | 6 | 事業の実施主体(誰が実施しているのか。) | <input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 () | | | | |
| | 7 | 事業の対象(誰を、何を対象としているのか) | 原則として、市立小学校に通う3~6年生及び市立中学校に通う1~3年生で参加を希望する児童生徒を対象とする。 | | | | |
| | 8 | 事業の目的(どのような状況にしたいのか) | 放課後、長期休業中などを活用し、児童生徒の学びの状況に応じたきめ細かな指導をとおして、一人ひとりの学力及び学習意欲の向上を図ることを目的とする。 | | | | |
| | 9 | 事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど) | 小中学校で、放課後や長期休業中を活用し、元教員や大学生などの指導スタッフが国語・算数(数学)等の基礎的な学習を指導する。また、土曜学びサポートでは、教育関連企業のスタッフを活用し、隔週土曜日の実施を基本として、年間24回実施する。 | | | | |
| 10 | 直接実施以外の主な支出先 | <input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 () 委託業者 | | | | | |

Ⅲ. 投入量

| 事業コスト | 項目 | 単位 | 平成29年度 | | 平成30年度 | | 令和元年度 | | 令和2年度 | |
|-------|-----------------|------------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|--------|
| | | | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | |
| 11 | 事業費 (a) | 千円 | 157,316 | 152,625 | 162,448 | 154,917 | 161,993 | 150,547 | 140,795 | |
| | 主な事業費内訳 | 堺マイスタディスタッフ謝礼金 | 千円 | 107,676 | 103,822 | 106,236 | 99,413 | 106,236 | 96,387 | 61,272 |
| | | 教室運管用消耗品 | 千円 | 5,000 | 4,428 | 4,514 | 4,144 | 3,993 | 3,620 | 920 |
| | | 土曜日学習支援業務委託料 | 千円 | 43,200 | 43,042 | 49,976 | 49,975 | 49,976 | 49,045 | 76,000 |
| | | その他() | 千円 | | | | | | | |
| | 財源内訳 | 国・府支出金 | 千円 | 50,292 | 48,943 | 52,070 | 42,555 | 52,070 | 31,944 | 45,757 |
| | | 受益者負担金(使用料、手数料等) | 千円 | | | | | | | |
| | | 市債 | 千円 | | | | | | | |
| | | その他() | 千円 | | | | | | | |
| | | 一般財源 | 千円 | 107,024 | 103,682 | 110,378 | 112,362 | 109,923 | 118,603 | 95,038 |
| | 12 | 人件費 (b) | 千円 | 6,560 | 6,560 | 6,560 | 6,560 | 6,480 | 6,480 | 6,560 |
| 13 | 総コスト(c)=(a)+(b) | 千円 | 163,876 | 159,185 | 169,008 | 161,477 | 168,473 | 157,027 | 147,355 | |

令和2年度 事務事業総点検シート(2)

| | | | |
|-------|-------------|-------|---------|
| 事務事業名 | さかい学びサポート事業 | シート番号 | 038-040 |
|-------|-------------|-------|---------|

Ⅳ. 評価(測定・分析)》

ロジックモデルの考え方



| [14] 令和元年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載 | 【達成率に基づいた評価基準】 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 30%;">評価</th> <th style="width: 70%;">達成率</th> </tr> <tr> <td>大変良い</td> <td>120%以上</td> </tr> <tr> <td>良い</td> <td>100%以上120%未満</td> </tr> <tr> <td>普通</td> <td>80%以上100%未満</td> </tr> <tr> <td>少し悪い</td> <td>60%以上80%未満</td> </tr> <tr> <td>悪い</td> <td>60%未満</td> </tr> </table> | 評価 | 達成率 | 大変良い | 120%以上 | 良い | 100%以上120%未満 | 普通 | 80%以上100%未満 | 少し悪い | 60%以上80%未満 | 悪い | 60%未満 |
|--|--|--------------|-----|------|--------|----|--------------|----|-------------|------|------------|----|-------|
| 評価 | | 達成率 | | | | | | | | | | | |
| 大変良い | | 120%以上 | | | | | | | | | | | |
| 良い | | 100%以上120%未満 | | | | | | | | | | | |
| 普通 | | 80%以上100%未満 | | | | | | | | | | | |
| 少し悪い | 60%以上80%未満 | | | | | | | | | | | | |
| 悪い | 60%未満 | | | | | | | | | | | | |
| [15] または [16] に定量的な指標、または定性的な目標を記載 | | | | | | | | | | | | | |

事業の活動実績や成果

| | | 令和元年度実績 | | | | | | |
|---------|----|--|----|--------|---------------|-------------|---------------|---------|
| 活動実績と成果 | 14 | 【平日マイスタディ】 ○活動実績 ・実施校 135校 ・実施回数 各学年32回程度(小学校3～6年) 各学年27回程度(中学校1～3年) ・登録スタッフ数 約2200人 ○成果 ・「マイスタディに来年も参加させたい」と答えた保護者の割合は、小学校で94.4%、中学校で83.8%であり、高い水準を維持している。 ・「マイスタディの学習はよく分かる」と答えた児童生徒の割合は、小学校で86.4%、中学校で76.1%であり、昨年度を下回ったが、上昇傾向である。 ・マイスタディ・スタッフやコーディネーターを対象とした研修を実施し、指導スタッフの指導力向上を図った。 | | | | | | |
| | | 【土曜マイスタディ】 ○活動実績 ・実施校 14校 ・実施回数 各学年年間24回 ・登録生徒数 のべ1158人 ・参加率 実施校の全生徒数に対して17.7% ○成果 ・参加生徒アンケート(年間3回実施) 「土曜マイスタディに参加して授業がよく分かるようになった」と答えた生徒が77%(2月)と、昨年と同程度である。 「家庭学習習慣の時間が増えた」と答えた生徒が43%(10月)から91%(2月)に増加した。 「土曜マイスタディに満足している」と答えた生徒が86%(2月)と、とても高い割合であった。 | | | | | | |
| | 15 | 指標名【成果指標】 | 単位 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | |
| | | 対象児童生徒に対するアンケート調査で「マイスタディに参加して授業がよく分かるようになった」と回答した割合(平日マイスタディ) | % | 目標値 | 小78 中60 | 小78 中60 | 小78 中60 | 小78 中60 |
| | | | | 実績値 | 小76.9 中55.9 | 小76.0 中59.4 | 小72.8 中51.3 | |
| | | | | 達成率 | 小98.5% 中93.1% | 小97% 中99% | 小93.3% 中85.5% | |
| | | | | 評価 | 小 普通 中 普通 | 小 普通 中 普通 | 小 普通 中 普通 | |
| | | 算出方法・設定根拠など マイスタディでの学習成果が授業理解につながっているかどうかを測るため。 | | | | | | |
| | 16 | 指標名【成果指標】 | 単位 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | |
| | | 対象生徒に対するアンケート調査で「土曜マイスタディに参加して授業がよく分かるようになった」と回答した割合(土曜マイスタディ) | % | 目標値 | 70 | 80 | 80 | |
| | | | | 実績値 | 79 | 77 | | |
| | | | | 達成率 | 113% | 96% | | |
| | | | | 評価 | 良い | 普通 | | |
| | | 算出方法・設定根拠など マイスタディでの学習成果が授業理解につながっているかどうかを測るため。 | | | | | | |

事業の効率性

| | | 区分 | 単位 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | |
|----------------|----------------|---------------------|------|---------|---------|---------|-------|
| 17 | ① | 堺マイスタディスタッフ従事回数 | 回 | 42,786 | 41,422 | 40,161 | |
| | ② | 上記①にかかる年間経費 | 千円 | 110,382 | 105,973 | 102,867 | |
| | ③ | 単位当たり経費(②÷①×1,000円) | 円/単位 | 2,580 | 2,558 | 2,561 | |
| | 備考(算出についての説明等) | | | | | | |
| 18 | | | 区分 | 単位 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 |
| | ① | | | | | | |
| | ② | 上記①にかかる年間経費 | 千円 | | | | |
| | ③ | 単位当たり経費(②÷①×1,000円) | 円/単位 | | | | |
| 備考(算出についての説明等) | | | | | | | |

業績の分析

| | |
|--|--|
| 19 目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析) | 【分析のチェックポイント】 ○ 事業の達成度はどうでしたか。 ○ 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。 ○ 資源投入は適切でしたか。 ○ 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。 ○ 有効性は高いですか。低いですか。 ○ 効率性は向上していますか。 ○ RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありませんでしたか。 ○ ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。 |
| 【平日マイスタディ】 ・全校実施から7年が経ち、各実施校でノウハウを積み重ねてきており、参加生徒の学力・学習意欲の向上につながっている。 ・コーディネーターを1校当たり1人配置することで、本事業に係る事務及び総合的な調整役を担当し、本事業を円滑に運営するとともに、各校各校の特色ある取組を推進することができた。 | |
| 【土曜マイスタディ】 ・民間のノウハウ(指導スタッフの体制、使用教材、カリキュラムの作成、家庭学習習慣につなげる課題の提供)の活用により、参加生徒及び保護者の満足度において、高水準を維持することができた。 ・少人数指導が可能な支援体制の確立により、個に応じたきめ細かな指導や支援が充実し、生徒の学習意欲の向上および学力の向上につながった。 | |

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

| | | | |
|-------|-------------|-------|---------|
| 事務事業名 | さかい学びサポート事業 | シート番号 | 038-040 |
|-------|-------------|-------|---------|

≪V. 点検≫

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○ 上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。

⇒

確認

| | | | | |
|--------------------------|-------------------------------------|--|---|---|
| コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性） | 20 | 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。 | 事業廃止の可能性 <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない | 廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 ・来年も参加したいという児童生徒の割合や、保護者の満足度が高いため、廃止できない。 |
| | 21 | (20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。 | 事業休止の可能性 <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない | 休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 ・来年も参加したいという児童生徒の割合や、保護者の満足度が高いため、廃止できない。 |
| | 22 | (20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。 | コストの縮減 <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 縮減できない | 縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由 ・本市の児童生徒の学習習慣の定着や学習意欲の向上に成果が見られ、来年も参加したいという児童生徒の割合や、保護者の満足度が高いため、また、報償費・委託費のため、縮減できない。 |
| | 23 | (20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。 | 事業手法の適切性 <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 改善する必要がない <input checked="" type="checkbox"/> 既に対応できている | 改善する場合は改善策、その他は理由 ・各学校や委託業者において、すでに感染症対策を講じたうえで実施するよう通知等している。 |
| | 24 | (20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。 | 効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は <input checked="" type="checkbox"/> 、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は <input type="checkbox"/>) ① <input type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input checked="" type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input checked="" type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 (企画情報課・放課後子ども支援課) 関連事業名 () ④ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他() | 理由・説明 ・GIGAスクール構想にともない教材のICT化を検討する。 ・平日学びサポートについては、委託による事業見直しを含め、関係課と事業の在り方を検討する。 |
| 25 | これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。 | 事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 現状を継続 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を拡充 公金投入の方向性 <input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 | 実施年度 <input checked="" type="checkbox"/> 令和2年度 <input checked="" type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降 | |
| | | 所見 ・平日学びサポート事業においては、児童生徒の授業理解につながっているが、人材の安定的な確保が課題であり、委託による事業実施等、関係課と事業の在り方を検討していく。 ・土曜学びサポート事業については、令和3年度全中学校43校で実施し、学習習慣の定着や学習意欲の向上を、さらに充実させていく。 | | |